

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター

★親子教室 (☎96-4551・FAX 22-9881)

- 1歳6カ月～2歳5カ月 10日(火)
- 2歳6カ月以上 24日(火)・31日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 5日(木)・12日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 19日(木)・26日(木)

★マタニティおしゃべり広場 16日(月)

★ツインズ・デー 20日(金)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要。

★育児講座 17日(火)

講師 小山 勝巳氏(家庭機能相談室室長)

定員 15名 要予約(託児なし)

午前10時～11時30分 費用無料

市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎FAX 24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。

指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 13日(金)・27日(金)
- 1歳半～2歳 20日(金)
- 2歳～2歳半 11日(水)・25日(水)
- 2歳半～3歳 18日(水)
- 3歳～3歳半 10日(火)・24日(火)
- 3歳半以上 17日(火)・31日(火)

※いずれも午前10時～11時(受付時間は午前9時30分～9時50分) 費用無料、申し込み不要。

河北子育て支援センター

★あそびのひろば (飯野川保育所内 ☎61-1601・FAX 62-2359)

支援センターにきて、遊びませんか。今月は11日(水)から開放します。

毎週月・水・木曜日 利用時間は、午前10時～11時30分

親子でお正月の遊びを楽しみませんか。

※子育てについての悩み・相談は、電話でも受け付けています。

お気軽にご利用ください。

月曜日～金曜日 午前9時30分～正午 午後1時～5時
土曜日 午前9時30分～正午

地域に出向いています

★子育てひろば<今月の予定>(午前10時～11時30分)

27日(金) 五十五人・鶴家(五十五人生活センター)

以上の地区に伺いますので、多くの方の参加をお待ちしています。

子育てアドバイス 1 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ ひとりで悩まないで



石巻市子育て支援センター所長 木村 悦子

はまなす保育所に子育て支援センターが開設して今年で10年目を迎えようとしています。この間、たくさんの方々からの相談を受けてきました。

相談者は、初めは緊張した様子で悩みを話し始めますが、いざ会話をしだすと方向性を見いだすのか、打ち解けてきたり、アドバイスを受け「あー、これでよかったんだ」と気づいたり、話す(相談すること)で悩みが悩みでなくなるのがよく見受けられます。

雄勝地区子育て支援 (雄勝総合支所保健福祉課 ☎57-3611)

★母子センター開放日

16日(月) 午前10時～11時30分

作って遊ぼう「鬼の面」 ※参加無料

お母さん同士お子さん同士の交流の場です。お気軽にご参加ください!

河南子育て支援センターパプラ (☎FAX 72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)

農村環境改善センター 2階(パプラ)午前9時30分～11時30分

- 0,1歳親子 10日(火) かんたんふく笑い
17日(火) 絵本の読み聞かせ
24日(火) 鬼のお面を作ろう
31日(火) サロントーキング
- 2歳以上親子 12日(木) かんたんふく笑い
19日(木) おばあちゃんの読み聞かせ
26日(木) クリスマスの飾りを作ろう!



※親子の上靴・おやつ着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談……ひとりで悩まないで!

★スクエア子育てひろば『豆まき会』

今年も迫力のある鬼が登場します。スクエア会員の皆さんと一緒に楽しみましょう!

とき 2月2日(木) 午前9時45分～

ところ 農村環境改善センター(パプラの和室)

参加費 こども1人 200円

持ち物 のみもの、おしぼり

申し込み方法: 参加費を添えて、1月26日(木)までパプラにお申し込みください。

桃生地区子育て支援 (桃生保健センター ☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター

とき 11日(水)・18日(水)・25日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

とき 7日(土)・14日(土)・21日(土)・28日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 神取いきいき交流センター

とき 24日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 4日(水)

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区子育て支援 (北上保健センター ☎67-2301)

★ひまわりキッズ 13日(金) 午前10時～11時30分

★ひまわりキッズフリー 25日(水) 午前10時～11時30分

もちろん、解決できないときには保健師さんや地域子どもセンターへつなげ、より良い方向性を見出すようにしています。

子どもは、私たち社会の宝です。子育てで分からないことや、困ったときにはひとりで悩まないで、気軽にお近くの支援センターに相談したり、保育所に遊びに行ってお話をしてみたりしてください。きっと悩んでいることの解決の糸口が見えてくると思います。子育てが楽しいものとなるように支援していくのが私たちの仕事です。

表紙から

市内に住む、12歳から96歳までの成年の皆さん16人に登場していただきました。お忙しいなかご協力をいただきありがとうございます。ちなみに成年生まれの市民は、約12,700人、このうち最年長の明治43年生まれの方は90人ほどいらっしゃるそうです。一番多いのは、昭和33年生まれの方、約2,200人だそうです。(あ)

編集後記

明けましておめでとうございます。新「石巻市」が初めて迎える新年、新しい年のスタートです。市報作りも新たな気持ちで、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っておりますので、今年も「市報いしのまき」をよろしく願います。今年一年い年になりますように。(あ)

石巻市の人口と世帯数

平成17年12月1日現在 ()内は昨年同月比		
82,476人(-961人)	87,984人(-867人)	
170,460人(-1,828人)	59,164世帯(+314世帯)	

多様性の評価を

石巻市文化財保護委員 川名 紘一

京都の観光客の流れをみると、郊外の寺院から、街なかの町家へと、流れが変わりつつあるようです。この現象は歴史的な京町家を改装したレストランが、大変なブームになっていることがあるようです。この現象は人々の、京都の町家をかけがいのないものと思う価値観が支えになっているからです。

空洞化が目立つ市街地活性化の核として、使われなくなった蔵など、再利用した商業施設が目につきます。そこには、人間の生活環境をより豊かなものに組み替えられる要因の存在が考えられます。また、学術的な価値観と、別の価値観の支持があるからです。ただこの場合、一過性のブームとして危険性を常に抱えています。洗練された改修が目されます。

鉄とガラスとコンクリートを材料とする、比較的新しい時代の建物を、近代建築と称します。明治期以前の歴史的建物とは違い、新しさゆえ評価が定まらないまま、今次々と姿を消しているのが現状です。『近代建築には、日本文化が西洋文化と格闘した精神の跡が刻まれている。』『保存し歴史的な遺産として、後世に伝えたい。』建築史の先生は、訴えておられます。建物の改修や再生利用には、建物を使う側の主張を尊重する、新しい価値観の視点が大きいと考えられます。

一市六町からなる新石巻市、その広域的視野に立つ「文化の多様性」への理解は、これからの大きな課題の一つです。従来にはない、形の柔軟な社会主体が一般化するでしょう。建物に限らず、利用する側の評価に、根拠を置く、新

しい歴史価値が広まる社会、使い方を発見し、開発していくことに、市民の方々の操作は欠くことができません。一七万の市に相応しい、新しい概念に対応した取組を考える時期にあるのかもしれない。

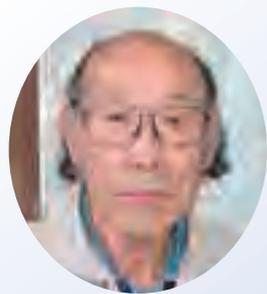
写真は、住吉町二丁目。佐藤家（旧毛利家）で、幕末期建築の町家です。この町家も、その時代に即した改修が行われてきました。文化財建築の価値が絶対的なよりどころとする歴史、物語、技術、この条件を濃密に刻む佐藤家は希有な建物です。



住吉町二丁目「旧毛利家」

参考文献・引用文
●「建築雑誌」二〇〇五・五月号（日本建築学会）
●東京大学教授 鈴木 博之 述

フォトな一枚⑥



木村 満さん
(雄勝町明神)

「心癒すふるさと」の港

海と山に囲まれた雄勝、思い出がたくさん詰まったこのふるさとの景色が私の宝です。

自宅から約10kmほど東に車を走らせると、灯台の麓から大須漁港を俯瞰することが出来ます。私にとってここが大好きな景観です。藍色の海が、遥か彼方に地球を思わせる微かな丸みを帯び、まるで米国までが見えそうな感じさえします。四季の変化、そして一旦身をおけば船までも飲み込み込む勢い、何度足を運んで撮影しても、違った新鮮な景色を写しだします。その中でもこの写真は、アートを求めてシャッターを振り続ける私にとって絵葉書の写真かもしれません。昔から変わらぬ素朴な港の景観、そして私自身の心を雄大にしてくれるこの場所への思いをこめた大切な一枚です。これから先も写真を通じて、心を癒してくれる景色にめぐり合える喜びを大切にしたいと思っています。

